

「新健康かつしか21(仮称)」素案に対する区民の意見と区の考え方

26.02(8人10件)

取扱いの凡例 : ◎方針に意見を反映する ○方針(案)に入っている △今後の施策の検討にあたって参考にする □意見・要望としてお聞きする

No.	意見の概要	取扱い	区の考え方
1	病院の常駐医師を増やしてほしい。	□	病院と区との連携を進める上での、ご意見・ご要望としてお聞きします。
2	受動喫煙防止対策について、過度な規制は行わず、現行案どおり分煙施策を進めてほしい。	○	第3章4-(5)に記載のとおり、禁煙希望者が禁煙できるよう情報提供を行うとともに、受動喫煙による健康被害をはじめ、区民が健康的・快適に過ごせるような環境整備を行います。また、COPDについて区民が正しく理解し、早期発見と適切な医療の継続を行えるよう、情報提供や健康相談を行います。
3	喫煙者率等の数値目標について、素案では参考指標として「喫煙している人の割合」を「下げる」となっている。数値目標ではなく現行案通りが望ましい。	○	
4	葛飾区における分煙については、ほぼ100%実施されており、区庁舎でも適切な分煙が図られていることから、喫煙者にも配慮した分煙施策を進めてほしい。	○	
5	健康づくり推進員の制度、目的、役割を明確にして予算を組み、健康づくり推進員をより活用してほしい。	○	
6	区民全体が七大疾患等の予防に取り組み、健康寿命を延伸するため、適切な生活習慣を身につけるよう啓発活動を行ってほしい。	○	第3章4生活習慣及び社会環境の改善では、区民が適切な生活習慣を身につけられるよう、「栄養・食生活」、「身体活動・運動」、「睡眠・休養」、「適正飲酒」、「喫煙防止」、「歯と口腔の健康」の6項目からアプローチすることを記述しています。

取扱いの凡例： ◎方針に意見を反映する ○方針(案)に入っている △今後の施策の検討にあたって参考にする □意見・要望としてお聞きする

No.	意見の概要	取扱い	区の方考え方
7	健康保険をあまり使わない健康者に対しインセンティブを与えて、健康意識を高めてほしい。	□	<p>国民健康保険は、病気やケガをした場合、誰もが必要なときに安心して診療が受けられるように、日頃からお互いの収入に応じて保険料を出し合い、そこから医療費を支出するという相互扶助的な制度であるため、国民健康保険を使わないということではインセンティブを与えることは想定しておりません。</p> <p>葛飾区国民健康保険では、今後も葛飾区特定健康診査等実施計画に基づき、未受診者への勧奨、区イベントでのPRや自治町会への事業周知用チラシ回覧等を通じて特定健康診査等の趣旨・必要性を知っていただき、受診していただくことで、健康意識を高めるよう努めています。</p>
8	ロコモティブシンドロームとサルコペニアの予防については、小規模な運動施設の設置が望まれ、女性用は民間会社が運営しているが、男性にも適した施設がないので作ってほしい。	○	<p>区では、健康推進員の皆さまのご協力をいただきながら、健康の保持増進に必要な体操やウォーキングなど様々な取り組みを実施しています。また、高齢者に対しては、運動機能の低下から介護が必要な状況になることを防ぐための施策（介護予防事業）を実施しており、25年度から新規事業として、民間事業者と協働でフィットネスクラブ施設を利用した事業を実施しています。</p> <p>第3章1-(4)に記載のとおり、今後も誰もが自身にあった運動習慣を身につけられるよう、支援を行う方針です。</p>
9	「脳の健康教室」や運動等、認知症予防に積極的に取り組んでほしい。	○	<p>第2章3(2)に記載のとおり、区では、高齢者の健康を保持増進し、生きがいを持って生活できるよう、また、認知症の予防や治療を含めた対策など、保健、医療、介護、福祉が連携し、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、支援を行う方針です。</p> <p>なお、区では、認知症予防のための事業として「脳力（のうちから）トレーニング」や「回想法」、「大人の塗り絵」等を実施しているほか、先進的介護予防事業として「筋力トレーニング」や「うんどう教室」、「運動習慣推進プラチナ・フィットネス」等を実施しています。</p>
10	体力測定診断を健康診断のように広めることを提案したい。運動習慣の有無に関わらず、自分の健康に関するデータで知り、その結果からアドバイスを得られる仕組みをつくることで、健康への区民の意識や生活習慣が変わると思う。	△	<p>区民のだれもが自身の体力状況を理解して、自主的・積極的に安心してスポーツを行うことができる環境を整備するため、6歳から79歳までを対象とした文部科学省「新体力テスト」を区内7地域で実施していきます。また、健康体操プログラムなど気軽に継続的にスポーツを行うことができる機会を充実させていきます。</p>